

道徳教育に郷土の偉人を！

平成24年3月10日(土)もとす教育者道徳研究会として3回目の実践研究会を開きました。北方町立北方西小学校ひまわり教室に、21名が集まりました。その様子を紹介します。

今回は、本巣市教育センターの取組を活かして「郷土に学ぶ道徳教育」としました。提案者は、本巣市を代表して外山小・大野琴美教諭、一色小・早川淳子教諭、北方町を代表して林明夫教育委員長のお三方です。嬉しいことには大倉昭名誉顧問とご一緒に岐阜市教道研より福井一芳氏、上野康定氏にもご参加いただきました。進行は、吉田光宏書記が行いました。



まず、主催者を代表し会長・森山政紀が挨拶をしました。3.11を明日に控え1年前をまざまざと思い出すこと。福島県いわき市出身なので、地震・津波に加え放射線被害の三重苦となる郷土に対する愛着がより強くなったこと。東日本大震災で多くを体験した今だからこそ、郷土の偉人を資料化し次世代の子どもたちに伝えていこうという実践は、道徳教育で大切にされるべきであること。

当初の計画を変更し、即実践の発表に移りました。



司会の吉田書記



挨拶する森山会長

新しいものをつくり出した郷土の偉人 古田織部

大野琴美教諭は、山口城主の子として本巣市山口に生まれた古田織部を資料化しました。たくさんの顔をもつ「織部」の茶道における「へうげもの」と評された独自の作風に焦点をあてたものです。授業で活かすためにと、「織部」の補助資料と指導略案も作られました。



発表する大野教諭

茶道の師である利休との命がけの別れを葛藤場面としました。師の教えを受け継ぐ自覚と新しい茶道の確立をめざそうとする意欲をもつのです。やがてひょうきん者・おどけ者を意味する『へうげもの』の斬新で大胆な陶芸の作風になります。現在では、『オリベイズム』として、古い物にとらわれることなく、新しく自分らしさを実現させる精神として受け継がれているのです。6年1-(5)「進んで新しいものを求め、工夫して生活をよりよくする」資料になりました。

6年担任と一緒にいった授業では、TVアニメ『へうげもの』でよく知られていることもあり、「よく分かった」「楽しかった」の声を得たそうです。郷土の偉人に親しみをもってくれたことで、苦勞が報われたことでしょう。6年2学期以降、歴史学習との兼ね合いで利用すると効果的だと実感したそうです。

資料化にあたっては書物に学び、授業化にあたっては他者の意見に学んだ大野教諭のひたむきさと謙虚がよく伝わってきました。

近代数学の父 高木貞治

早川淳子教諭は、一色小校区の本巢市数屋に生まれた世界的な数学者高木貞治を資料化しました。現在は「貞治」の業績を伝える本巢市事業として、小中学生を対象に、「算数ウォークラリー」や「算数・数学甲子園」が行われ、郷土の偉人としてよく知られるようになりました。



発表する早川教諭

道徳の資料化にあたっては、「貞治」が飛び級する程の頭脳の持ち主であったこと、濃尾大震災で帰郷した彼が「学問がおまえの仕事だ」と父に追い返されたこと、ドイツ留学の師フロベニウス教授から「自分で考える」精神を学んだこと。彼が、世界中の数学者が解こうとして解けなかった難問題「クロネッカーの青春の夢」を解くために努力した背景として、この3つのエピソードを示しました。子どもたちに憧れをもたせる書き出しも効果的でした。6年1-(6)「自分の特徴を知って、悪い所を改めよい所を積極的に伸ばす」資料になりました。

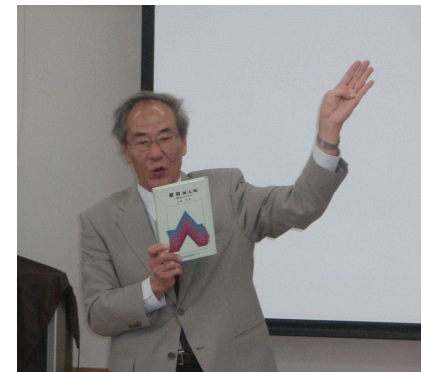
授業にあたっては、学級担任との役割分担で検証されました。特に、興味をもてるように導入を工夫したこと、考えを深める補助発問をしたこと、これからの自分に夢や希望をもてる終末にしたこと、この3つが活かされています。

子どもたちの自己肯定感を育み、どの子にも夢と希望をもって生きて欲しいという温かい早川教諭の思いが、強く伝わってきました。

日本ではじめて博物館をつくった 棚橋源太郎

本巢市の教育センター長であり、北方町の教育委員長でもありません林明夫氏は、北方町森町に生まれた棚橋源太郎を資料化しました。

勤勉で頭もよく心優しい「源太郎」の生き方を活かそうと、2つの試案が示されました。1つは、「不思議だな」を口癖にした少年時代を中心に書いた資料。2つ目は、濃尾大震災の体験から「くじけず、人のために挑戦する」ことを博物学に向けた青年時代を中心に書いた資料。どちらも方言を活かした書きぶりがなされています。実践的な検討を現場の先生に期待したいと、抱負を述べられました。



発表する林明夫氏

その後、自己紹介も兼ねて意見交流をしました。三人の先生から郷土の偉人を教えてもらい感動したこと、授業を受ける子どもたちが幸せだと思うこと、もっと多くの人に知ってもらいたいこと等々たくさんのお話を語っていただきました。

平成26年度岐阜県には小学校道徳研究会の全国大会がきます。岐阜県道研の「指導法の工夫」とともに「資料の開発」も柱になると思うので、これから広げていく努力をしたいと思います。森山会長のむすびのことばで散会となりました。

今年度を振り返る昼食会も楽しくできました。

平成24年度の主な活動予定

5月25日(金) 理事・役員会(北方西小)

6月23日(土) 総会・講演会(北方西小)

8月7日(火) 第49回岐阜県教育者研究会各務原会場

(各務原市立図書館)

※実践発表者をお願いされました。名誉なことと思います。

8月17日(金) 県道徳教育研究部会夏季ゼミナール(西濃地区)

12月22日(土) 理事・役員会(北方西小)

2月23日(土) 実践研究会(北方西小)

